

碧水園能

喜多流公演

能東とう

北ほく

佐々木多門

和泉流

狂言

かみなり

雷

石田幸雄

平成29年1月22日(日)開演午後1時30分

(開場午後0時30分)

白石市古典芸能伝承の館 碧水園能楽堂

主催 碧水園能に親しむ会実行委員会

後援 白石市、白石市教育委員会

(公) 白石市文化体育振興財団

白石商工会議所、白石市文化協会

お問い合わせ先 電話〇二三四―二五―七九四九

住所宮城県白石市南町二丁目二番二二号

正面補助席、脇正面指定席 5,500円

脇正面補助席 5,000円

自由席 4,500円

学生席 3,000円

(中学生以下無料 先着10名)

チケット取扱所.....

碧水園、中央公民館、白石喜多会会員

※平成28年12月2日(金) 午前8時30分発売開始

電話受付 午前9時開始

〔(東北)写真 佐々木宗生 所演〕

碧水園能 喜多流公演 番組

解説

塩津圭介

開演 一・三〇

仕舞

竹生島

佐藤陽

地謡

塩津圭介

金子敬一郎

内田成信

大島輝久

八島

佐藤寛泰

二・〇〇

和泉流

狂言

雷

藪医者 石田幸雄

雷 破石晋照

二・二〇

休憩 十五分

二・三五

能 東北

ワキ・僧 安田登

大鼓 柿原光博
小鼓 森貴史

笛 栗林祐輔

間狂言・東北院門前の者 石田幸雄

後見 塩津哲生
粟谷浩之

地謡

佐藤陽
塩津圭介
友枝真也
佐藤寛泰

大島輝久
友枝雄人
長島茂
内田成信

附祝言

終演予定 四・〇〇

仕舞 竹生島 (ちくぶしま)

琵琶湖の底より龍神が宝珠を捧げて出現し、弁財天と一体の姿を見せて国土守護を誓い、豪快に舞う。

仕舞 八島 (やしま)

源平の運命をかけた屋島の戦いを勝ち軍に導いた源義経。その靈魂が昔日の戦さを語り舞う。

狂言 雷 (かみなり)

都の藪医者が東国へ下って行く途中、広い野原(武蔵野)に差しかかる。すると突然夕立が起こり雷が落ちてくる。怖がる藪医者に向かい、雷は落ちた際に腰を打った、と治療を命じる。こわごわ治療を始めた藪医者が患部に大きな針を打ち込むと、雷は痛みが大騒ぎする。やがて具合も良くなり昇天しようとする雷に、藪医者は治療代を求めるが、持ち合わせのない雷は…。

能 東北 (とうほく)

今を盛りと咲き誇る京の東北院の梅。東国より都へ上ってきた僧がその梅花を眺めていると、一人の女が声をかけて、かつて和泉式部の植えた軒端の梅であると教え、由緒を語って消えてしまう。

〈中入〉

夜に入り、和泉式部の霊が僧の誂経に導かれて姿を現す。都の要地である東北院の澄み切った景趣と和歌の徳を讀えつつ、梅の芳香のなか歌舞の菩薩の舞を舞う。美しく情緒豊かな名曲。

新春にふさわしい清らかな静寂の世界。

